

## 第4学年 学級活動指導案

平成29年4月28日（金）

〇〇小学校 第4学年 22名

指導者 学級担任

### 1 題材 『いただきます』をさぐる！

活動内容（2）キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

### 2 題材設定の理由

生活がどんどん便利になるにつれて、いつでもどこでもご飯やお菓子、清涼飲料水など、欲しいものが簡単に手に入るようになり、児童を取り巻く食の環境も大きく変化してきている。そのような中で、余剰の食品が数多く生まれ、食品ロスが一つの社会問題になっている。学校現場においても、児童の残食は一つの課題であり、好き嫌いによる残食が少しでも減少するように、学校を挙げて給食時に声をかけ、指導を行っている。

本学級の児童は素直で明るく、毎日元気に生活を送っている。日々の給食を楽しみにしている児童が多く、お昼が近付くと給食だよりをのぞき、その日のメニューを確かめる姿もよく見られる。しかし、野菜など好き嫌いがある児童が多く、学級として給食を完食できることがほとんどない。最初から量を少なくしても、給食を残してしまう児童も数人いる。また、児童の様子を見てみると、給食を始める際、「パンッ」と全員が音を立てながら手を合わせて挨拶をしているのが気になった。『いただきます』にこめられている思いが十分に理解できておらず、『いただきます』そのものが形骸化しているのではないかと感じた。

そこで本題材を通して児童に『いただきます』の意味を考えさせることで、そこに込められている様々な人々への感謝の気持ちや、いただく命への感謝の気持ちを感じ取らせた。そして、『いただきます』の挨拶で感謝の気持ちを思い出し、好き嫌いがあっても、できるだけ残さずに食べようという意欲をもってほしいと考え、本題材を設定した。

### 3 題材の目標

『いただきます』にこめられた感謝の気持ちに気づき、正しく『いただきます』の挨拶をしたり、食事を残さずに食べたりしようとする意欲をもつことができる。

### 4 題材の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
『いただきます』にこめられた思いに気づき、感謝して残さず食べようとする意欲をもっている。	感謝して残さず食べるために、自分の目標を決めて実践している。	『いただきます』に込められた思いや、感謝して食べることの大切さを理解している。

### 5 食育の視点

『いただきます』に込められた思いについて考える活動を通して、感謝して食べることの大切さを理解し、食事を残さずに食べようとする意欲をもつ。（感謝の心）

### 6 指導計画

- ・事前指導・・・給食時の指導
- ・本時・・・学級活動「『いただきます』をさぐる！」（授業参観で行う）

- ・事後指導・・給食時の指導（いただきますについての振り返り）  
家庭への啓発（学年便り等で本時の内容を伝える）  
学級活動「野菜パワーで元気になろう！」（市食育パワーアップ事業）

## 7 本時

### (1) 目標

『いただきます』にこめられた感謝の気持ちに気付き，正しく『いただきます』の挨拶をしたり，食事を残さずに食べたりしようする意欲をもつことができる。

### (2) 展開

時間	学習内容と活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5分	1 スライドを見て，食物の3つの働きを知る。	○給食だよりの内容を想起させ，食物の3つの働きについて指導する。	
3分	2 自分たちの給食の様子から課題を考え，本時のめあてをつかむ。	○児童自身の『いただきます』の映像を見せ，児童が課題に気付けるようにする。	
いただきますをさぐる！			
15分	3 言葉から『いただきます』について考え，グループで話し合い，発表する。	○いただくことについて，【誰に】，【何を】の2つにしぼって意味を考えさせるようにする。	
15分	4 ポーズから『いただきます』について考え，グループで話し合い，発表する。	○生活で合掌をする場面を想起させ，意味を考えさせるようにする。 ○他の命をいただいてこそその自分の命であることが，気付けるように指導する。	
7分	5 本時の学習を振り返り，これからどのように食事をしていきたいか考える。	○できるだけすぐに始めることができる，具体的な目標を書くように助言する。	感謝して残さず食べるための，自分なりの目標を考えている。 (ワークシート，発表)

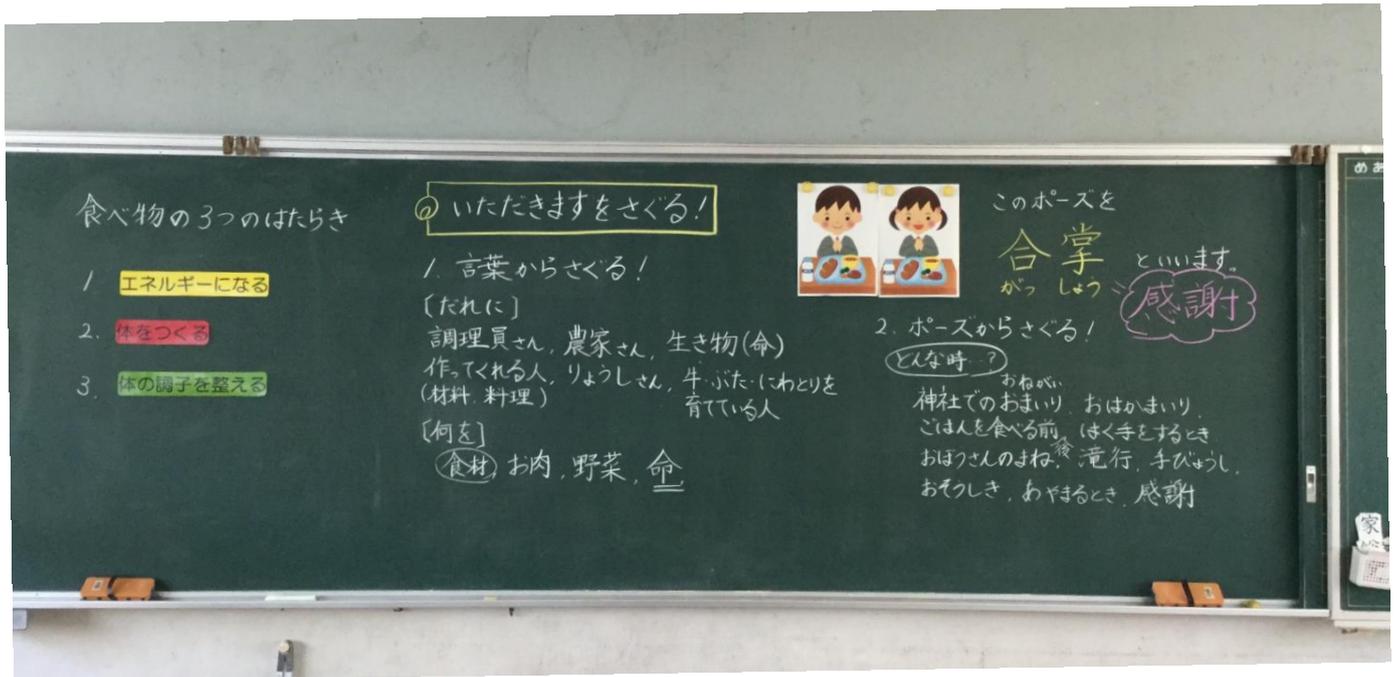
### (3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	これまでの食事を振り返り，感謝して残さず食べるために自分がしていきたいことを，具体的に考えることができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	『いただきます』の挨拶をきちんとする，作ってくれた人のことを考えて食べるなど，目標の例を助言したりヒントカードなどで示したりする。

## 8 他教科との関連

体育科の保健領域で扱う「育ちゆく体とわたし」では，体がよりよく育つためには調和の取れた食事が重要であることを指導するので，関連付けて効果的に指導が行える。また，次年度の5年生の社会科で学習する「これからの食料生産」での学習にもつなげることができる。

## 【当日の板書】



## 【当日使用したワークシート】



### 「いただきます」をさぐる



名前( )

★食事の時には、いつも「いただきます」とあいさつをします。  
なぜ、このようなあいさつをするのか、その理由を話し合ひましょう。

#### 1. 【言葉からさぐる】

「いただきます」はだれに向けて言っているのか考えましよう。  
また、何を「いただく」(もらう)のかも考えてみましよう。

【だれに】

【何を】

#### 2. 【ポーズからさぐる】

「いただきます」を言うときには、胸の前で手を合わせます。このポーズを( )と言ひます。

・どんな時に( )をしているか、考えてみまよう。

どんな時...?

・「合掌」にこめられた思いについて考えましよう。

#### 3. 【まとめ】

☆実は!! 「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつは...

最後に、これからどのように食事をしていきたいか考えて、書いてください。